



日本ピグメント株式会社

2024年3月期 第3四半期 決算説明資料

2024年2月9日

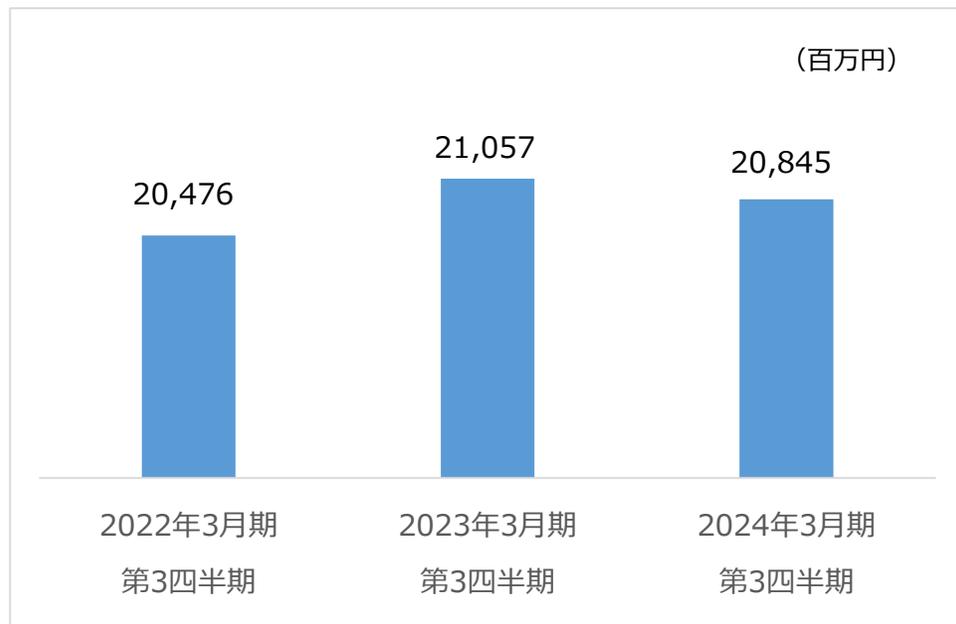
日本ピグメント株式会社

2024年3月期 第3四半期業績ハイライト

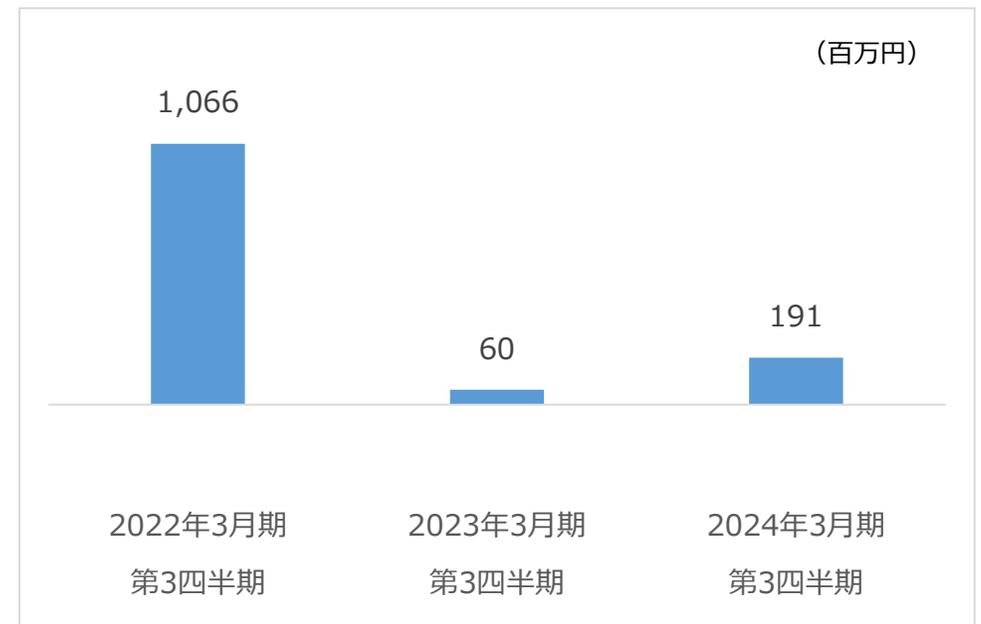
売上高は前年同期比減少

国内販売の回復の鈍さはあるものの、販売商品構成などもあり、営業利益は前年同期比増益を確保

売上高



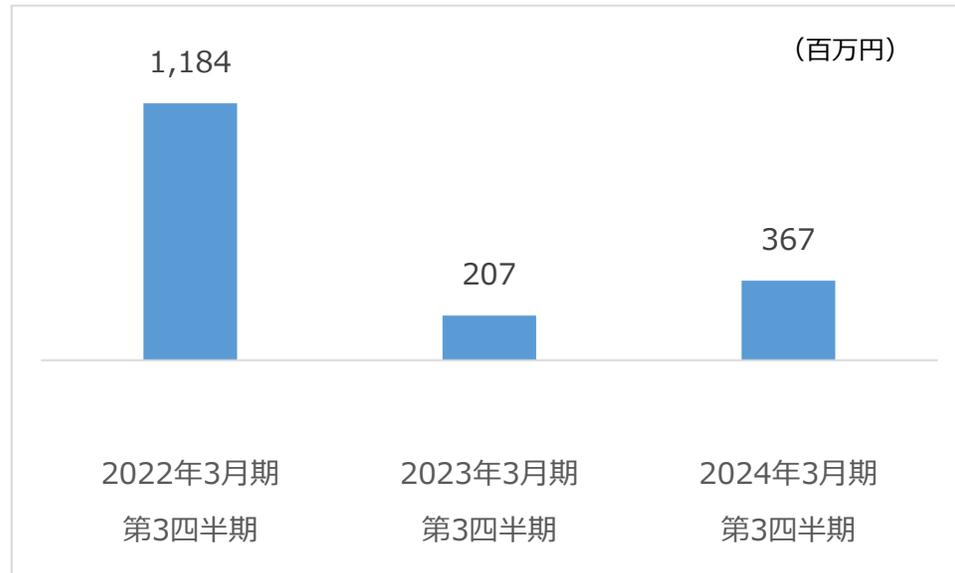
営業利益



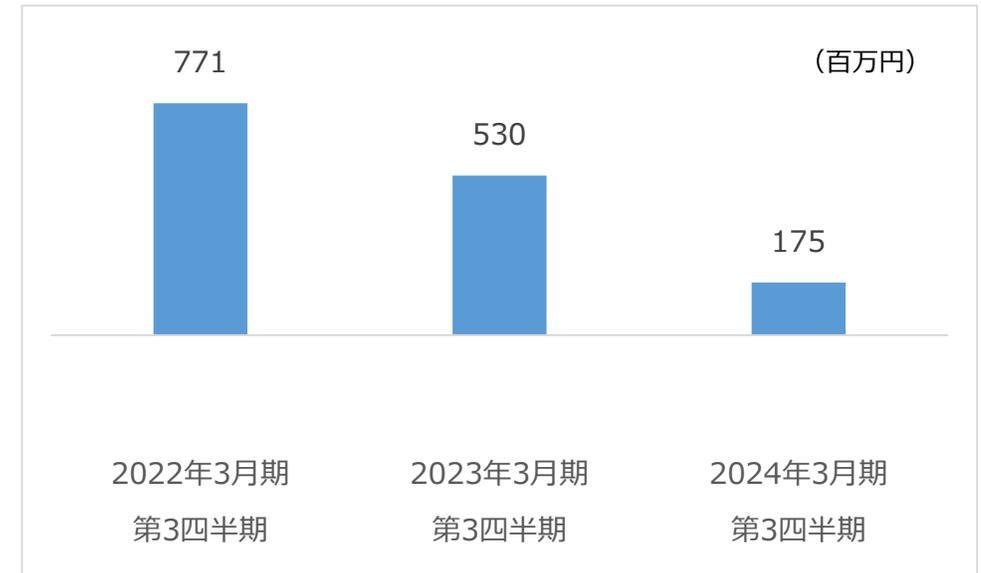
2024年3月期 第3四半期業績ハイライト

経常利益は前年同期を上回ったものの、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比で減少

経常利益

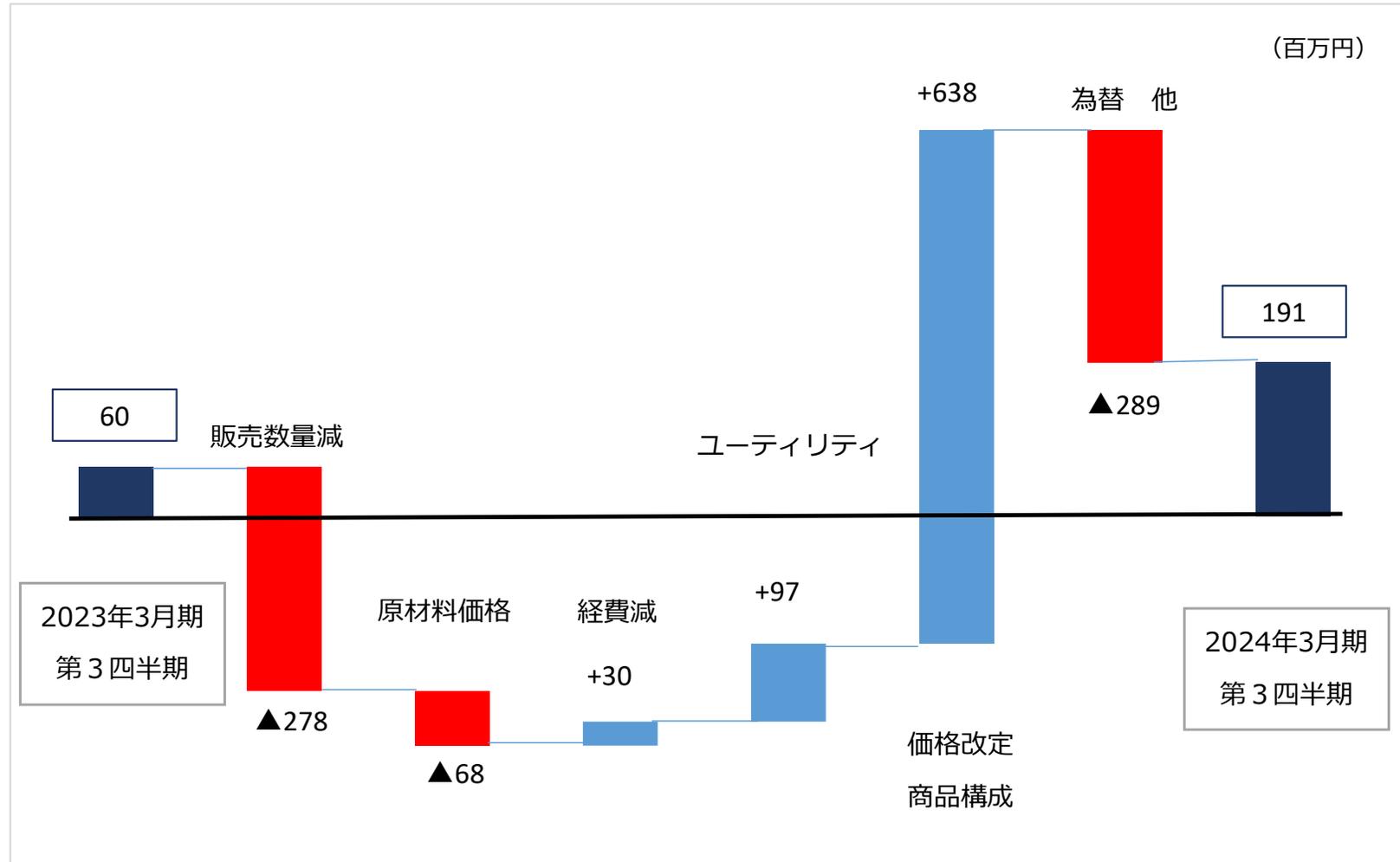


親会社株主に 帰属する 四半期純利益



2024年3月期 第3四半期 連結営業利益の増減要因

販売数量減、為替影響によるコスト増はあったものの、価格改定、商品構成による増益効果で打ち返し



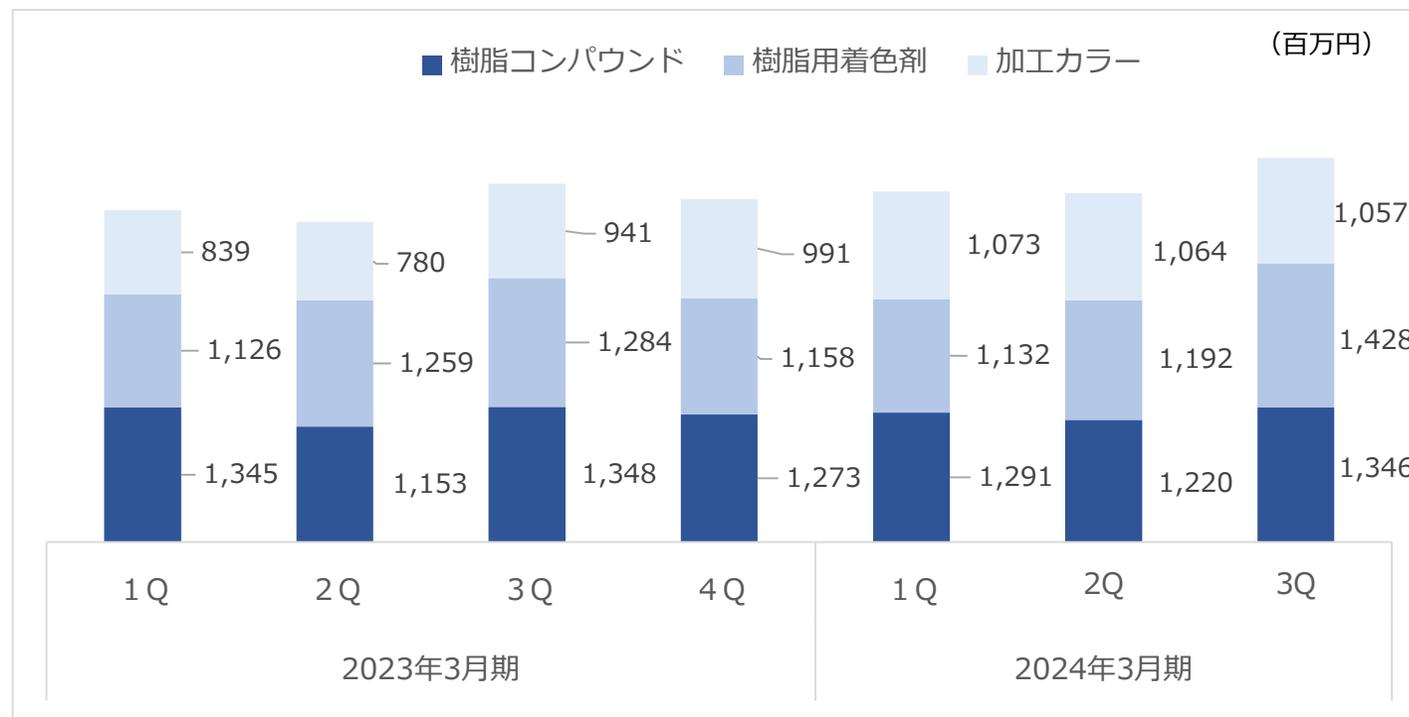
2024年3月期 第3四半期 セグメント別実績概況

① 日本

○ 自動車向けの樹脂関連需要は回復傾向にあるものの、販売数量は減少

- 自動車用途以外の販売回復が遅れ、樹脂コンパウンド部門の売上は前年同期並み
- 樹脂用着色剤部門は、自動車向け、化粧品向けが回復、飲料用途向けも堅調推移
- 大型液晶パネル用途向けなどの液体分散体需要は回復傾向を継続、建材関係の 堅調推移もあり、加工カラー部門は前年同期比売上増

【セグメント別売上高の推移】

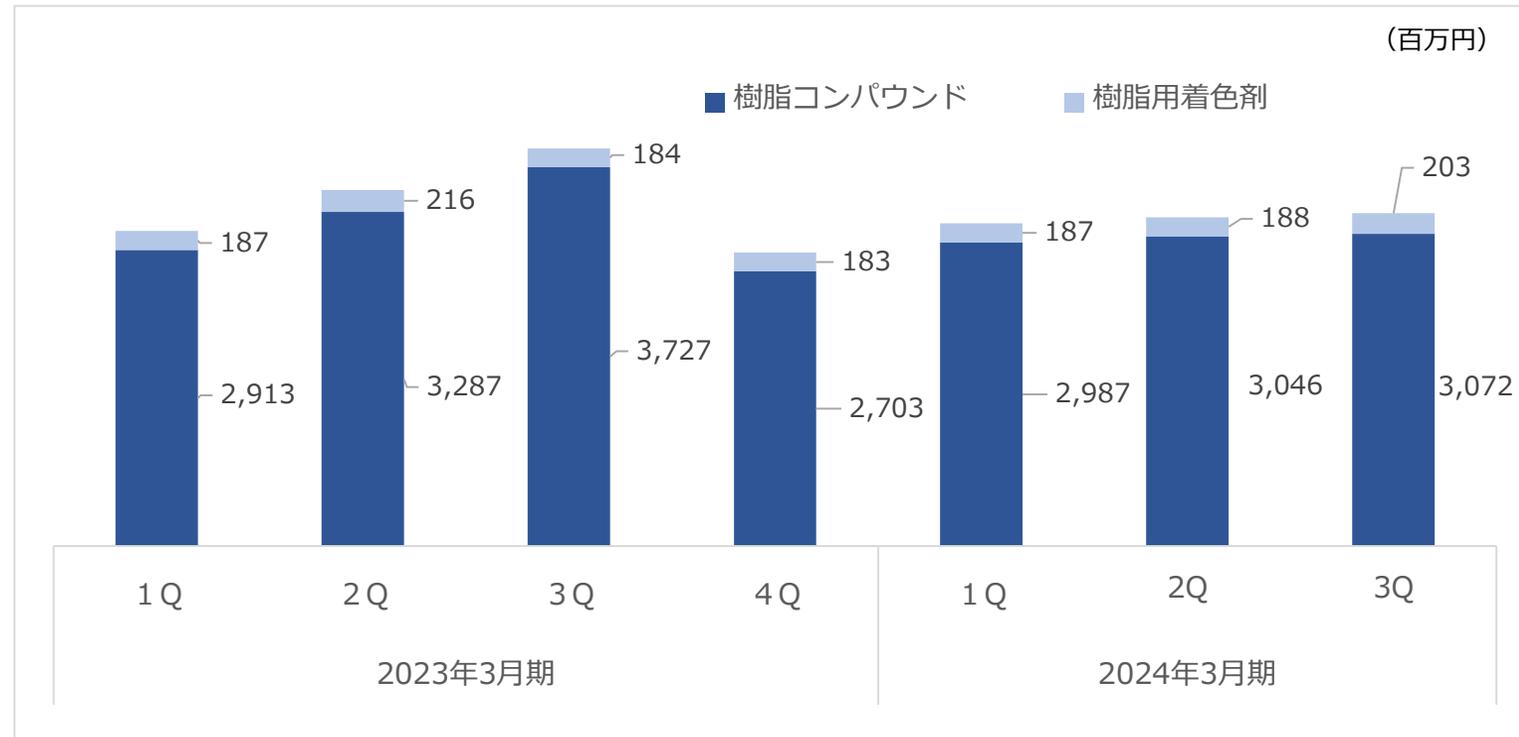


2024年3月期 第3四半期 セグメント別実績概況

② 東南アジア

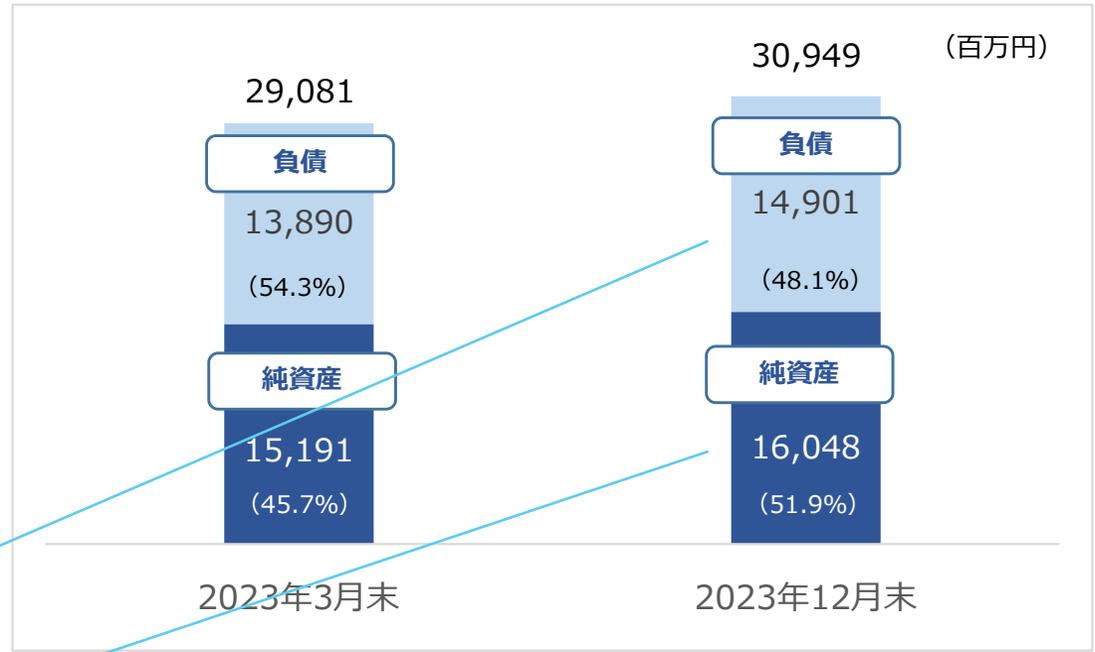
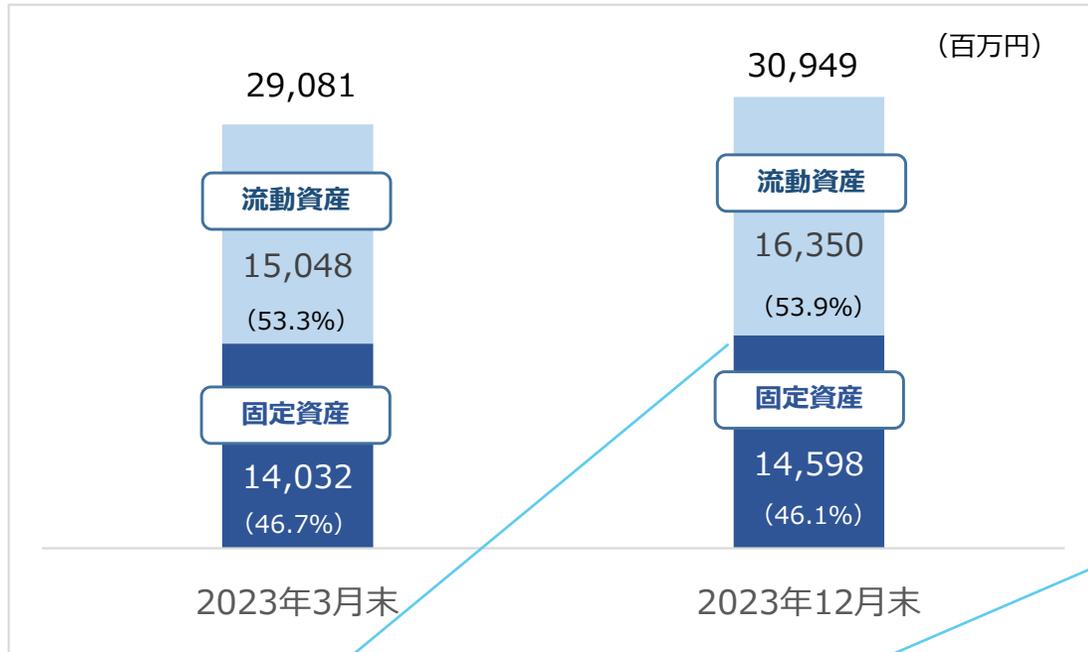
- 中国をはじめとする各国での需要低迷の影響から販売は低調。為替影響があったものの、売上は前年同期比減少
 - インドネシアは良好な内需を反映し、販売は堅調
 - その他東南アジア域内需要は中国向け需要低迷の影響、OA関連需要減などにより販売が減少

【セグメント別売上高の推移】



(*) 2023年3月期第4Qについては為替影響により円貨ベースでの売上高は減少

連結貸借対照表等の概況



資産

- 現金及び預金の増加
- 投資有価証券の増加

負債

- 支払手形及び買掛金の増加
- 繰延税金負債の増加

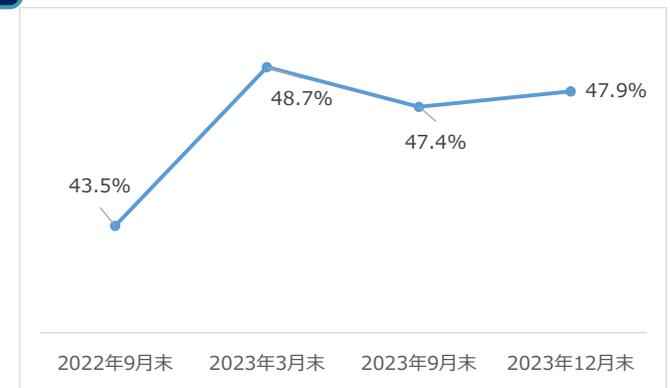
純資産

- その他有価証券評価差額金の増加
- 為替換算調整勘定の増加

D/Eレシオ

0.43 (2023年3月末 0.45)

自己資本比率



連結損益計算書の概況

(百万円)

	23年3月期	第3四半期	24年3月期	第3四半期	増減率
売上高		21,057		20,845	▲ 1.0%
売上総利益		2,437		2,675	9.8%
販管費計		2,376		2,483	4.5%
営業利益		60		191	213.7%
営業外収益計		292		245	▲ 16.1%
営業外費用計		145		69	▲ 52.2%
経常利益		207		367	77.0%
特別利益計		401		16	▲ 96.0%
特別損失計		0		1	104.7%
税金等調整前四半期利益		608		383	▲ 37.0%
法人税等計		20		142	587.3%
四半期純利益		587		241	▲ 59.0%
親会社株主に帰属する四半期純利益		530		175	▲ 66.8%

2024年3月期の事業環境見通し

- 中東などの地政学的リスク、中国国内需要回復の不透明感継続など、外部環境は、引き続き厳しい状況が継続する見通し

日本

- 国内の自動車向け需要は緩やかな回復を見込むものの、認証不正問題の生産への影響もあり、大幅な回復は見込み難い状況。一方、自動車用途以外については需要低迷が継続しているものもあり、製造関連コストの削減も、より一層のスピード感をもって推進
 - ・ 樹脂コンパウンド部門は、自動車向け需要の動向を注視
 - ・ 樹脂用着色剤部門は、飲料向け、フィルムなどでの販売増を目指す
 - ・ 加工カラー部門は、大型パネル用途向け需要は弱含み推移の見込み。建材向け用途など、内装材関連などでの販売増を目指す

東南アジア

- 中国内需の回復の遅れ、原材料価格の高止まり等のマイナス要因は継続。インドネシア国内向けなど東南アジア地域での販売増強による収益確保を目指す

(ご参考) 導電性銀ナノペーストについて

用途

- ・ SiC、GaN等の次世代型パワー半導体用の焼結接合剤
- ・ 熱電素子、LED素子、産業/車載用パワーモジュールなどの高温化で動作する半導体素子用の接合剤

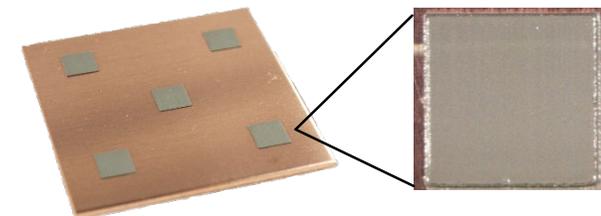
特性

- ・ 焼結後の有機物 残渣なし
- ・ 無加圧で無垢銅との接合可能
- ・ 高熱伝導率・低抵抗率の実現
- ・ 低温焼結

《ペースト外観例》



《ペースト印刷例》



項目	測定値 (試験条件)	備考
用途	LED、熱電素子、パワー半導体素子 他	-
接合面積	無加圧：～10 mm ² 加圧：～10 mm ²	-
接合対象	Cu, Au, Ag	-
金属含有率	85 ～ 95 %	用途に合わせて調整可能
粘度	20 ～ 100 Pa・s (E型粘度計、10 s ⁻¹)	用途に合わせて調整可能
塗布方法	メタルマスク印刷、ディスペンス印刷	用途に合わせて調整可能
接合条件	無加圧：200～300 ℃ 加圧：200～300 ℃/10～20 MPa	-
保存条件	3～10 ℃	-

(ご参考) 導電性金属ペーストについて

用途

- ・スクリーン印刷向け

特性

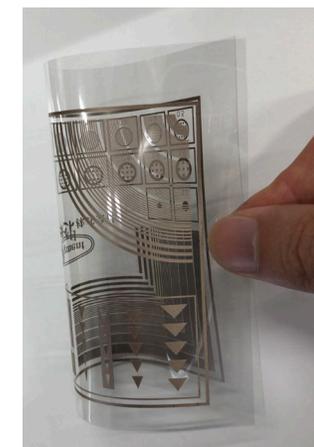
- ・印刷性に優れる
- ・良好な電気特性、耐溶剤性
- ・特性（粘度、印刷性）の調整が可能

項目	測定値 (試験条件)	
金属種	銀・銅複合材料	銀
粘度 (E型粘度計、24℃、10 s-1)	22 Pa・s	32 Pa・s
体積抵抗率	65 mΩ・cm (10 μm厚)	46 mΩ・cm (10 μm厚)
配線抵抗値 (1 mm×1000 mm 20μm厚)	36 Ω	24 Ω
塗布方法	スクリーン印刷	スクリーン印刷
硬化条件	大気下、160℃、30分	大気下、160℃、30分
塗布対象	PETフィルム、ガラス	

《ペースト印刷配線》



配線の折り曲げも可能



(ご参考) インドネシア法人のCSR活動について

2023年10月14日に北ジャカルタ ムアラ・ゲンボン沿岸部でマングローブ植樹を実施

マングローブ5000本を植樹

現法設立30周年記念CSR活動

日本ピグメント現法で、プラスチック着色加工のニッピスン・インドネシアは14日、バカシ県ムアラ・ゲンボン郡パンタイ・スデルハナ村で、設立30周年を記念し、マングローブ5000本の植樹活動を行った。



(左から)井村亘志ニッピスン・インドネシア社長、パンタイ・スデルハナ村のワフウ・ウシジャヤ村長、三輪幸一日本ピグメント取締役、同村のスハルマ町内会長

日本ピグメントは中期経営計画において持続可能な社会への貢献、環境リスク低減の取り組み強化を目標に掲げている。インドネシアにおいてはCO2削減活動、環境リスク低減の取り組みの一環として、マングローブの植樹活動を実施した。植樹活動には日本ピグメントの三輪幸一取締役、ニッピスン・インドネシアの井村亘志社長の

ほか、来賓にアジ・タルムジ国家環境保全委員会事務局長、バカシ県開発計画局のイルサン事務局長、バカシ県議会事務局のリスマント調査課長、植樹場所の選定に協力したバングン・プリアダバン・ムリア財団のコマルディン・イブヌ・ミカム会長らが出席した。

ニッピスン・インドネシアの井村社長は「地域住民の方々の生活に貢献できる活動だと確信している」と語った。

同社関係者によると、海面上昇の問題が生活にも関わるパンタイ・スデルハナ村でのマングローブ植樹活動の実施を決めたときは、村の住民から大変喜ばれたという。

来賓への記念品贈呈のあと、参加者一同は



井村社長からマングローブ植樹活動に協力したバカシ県議会事務局のリスマント調査課長に記念品が贈呈された

バカシ県を囲む海の沿岸を小型ボートに乗ってマングローブ林へ。

井村社長をはじめ経営陣はびしょ濡れになって、マングローブの植樹を行った。

ニッピスン・インドネシアは、これからも環境改善活動を継続的に取り組むとしている。



マングローブの苗木を手にした井村社長(右から3番目)ら



記念撮影にこぶしを挙げるニッピスン・インドネシア経営陣



PT. NIPPISUN INDONESIA

[第1工場] Kawasan Industri MM2100, Jalan Sulawesi Blok I. 1-1, Desa Gandamekar, Cikarang Barat, Bekasi 17520, West Java | TEL +62-21-898-0018

[第2工場] Kawasan Industri MM2100 Blok PP-1, Desa/Kelurahan Jatiwangi, Cikarang Barat, Bekasi 17520, West Java | TEL +62-21-2945-5161

広告

(ご参考) 事業セグメントと主要製品

樹脂コンパウンド	樹脂用着色剤	加工カラー
 <ul style="list-style-type: none"> ・強化樹脂コンパウンド ・難燃性コンパウンド ・帯電防止コンパウンド ・導電性コンパウンド 	 <ul style="list-style-type: none"> ・カラーマスターバッチ ・機能性マスターバッチ <ul style="list-style-type: none"> － 紫外線吸収マスターバッチ － アンチブロッキング性マスターバッチ － 帯電防止性マスターバッチ － 抗菌性マスターバッチ － 保温性マスターバッチ － 耐傷付性マスターバッチ － 長期耐熱性老化防止マスターバッチ 	 <ul style="list-style-type: none"> ・樹脂用加工顔料 ・高分散型液体分散体 <ul style="list-style-type: none"> － カラーフィルター用、インクジェット用顔料分散体 － 環境負荷の少ない水性インキ及びそのメジウム（クリヤー液剤）などの顔料分散体

- 本資料は、投資家の皆様に会社内容の理解を深めていただくための資料であり、投資勧誘を目的としたものではありません
- 記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報、及び当社が合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を約束する趣旨のものではありません
また、実際の業績等は様々な要因により予想数値と大きく異なる可能性があります

色のプロフェッショナルとして **100**年 -since1925-



日本ピグメント株式会社